●今月の特集のテーマは・・・

「読書の秋に、なに読もう…」





『十歳までに読んだ本』西 加奈子ほか/著 ポプラ社 ☆著名人総勢 70 人がひとり 1 冊、 (一般) 019.5/ジ 子ども時代の思い出の本を紹介しています。

『まなの本棚』 芦田 愛菜/著 小学館 (一般) 019.9/ア ☆年間 100 冊以上の本を読むというタレントの 芦田愛菜が選んだ 84 冊を読書愛とともに語っています。

「おばけ と おかし」



『どうぶつたちのハロウィーンって?』
アン・ウィットフォード・ポール/ぶんデイヴィッド・ウォーカー/え福本 友美子/やく 岩崎書店(児童)秋/E/ウ☆今日はハロウィーン。どうぶつたちが仮装して歩くよ。どんなお菓子がもらえるかな?

『おろろんおろろん』



石黒 亜矢子/作 偕成社 (児童) E/イ

☆「おろろん」はたのしいおばけのパレード。
でもこどもはお留守番だって…。
それならこどもだけで「おろろん」をやってみよう!

『チョコレートタッチ』

パトリック・スキーン・キャトリング/作 佐藤 淑子/訳 伊津野 果地/絵 文研出版 (児童)933/カ ☆不思議なチョコレートを食べたおかし大好きなジョン。 口に触れたものが全部チョコレートに!?どうなるの!?

菊川図書館だより

下関市立菊川図書館

10 月号

〒750-0317 下関市菊川町下岡枝193-8

TEL: 083-287-0102 FAX: 083-287-0202

2025年10月発行

●開館時間

 $9:30\sim18:30$

=

二休館日

4日=おはなしのじかん 14:00~14:30

23日=菊川読書の日

★10月の図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	<u>23</u>	24	25
26	27	28	29	30	31	

秋の読書週間

10/27(月)~11/9(日)

終戦の2年後、1947(昭和22)年「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」と出版社・取次会社・書店・図書館を中心に新聞社・放送のマスコミ機関も一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

今年で79回目を迎える「読書週間」の標語は『こころとあたまの、深呼吸。』です。これからも、読書の楽しさを知ってもらえるきっかけになることを願っています。





新



『リクと暮らせば レンタル番犬物語』



大崎 梢/著 双葉社(一般) F6/オ

散歩や健康管理はすべてスタッフにおまかせ。

手間なく手軽に優秀で心強い番犬をそばに置くことができる「レンタル番犬サービス」。 高齢のひとり暮らしに、女性だけのシェアハウスなどさまざまな事情を抱える人々に静かに寄り添う番犬たちの物語。

『がんばらないずぼら和菓子』



土屋 タダヒロ/著 淡交社(一般)596.65/ツ

和菓子を食べるのは好きですが、いざ作るのは難しそう…と思っていませんか?

身近な材料といつもの調理器具で、がんばらなくても 和菓子が作れてしまいます。レシピごとに「ずぼらレ ベル」が書かれているので、がんばれる日には少し難 しい和菓子にもチャレンジできます。

『異能力キャラを召喚してみた!空想科学まんが』^{空想科学研究所} 福井 セイ/漫画 小学館(児童) 404/イ



「まんがやアニメの特殊能力を現実につかうとしたら?」を検証する『空想科学読本』がフルカラーの 学習まんがになりました。

天才科学者の姉・そら、弟・まなぶと一緒に楽しく科 学の勉強をしてみませんか?

貸出中の場合は、予約をご利用ください。予約のお申込は、 窓口や電話、図書館のホームページからも出来ます。



『すーっとすってふー』 松田 奈那子/作 アリス館

(児童)B/E/マ



ぷんぷん怒ったり、わんわん泣いたり、けんかした時、どうしたら気分が良くなるか、ねずみさんがわかりやすく教えてくれます。"ふーっとすってーふー"と大きく深呼吸をして、笑顔になれる方法、みんなで真似してみませんか。

菊川にまつわる "き・く・が・わ・あ・れ・こ・れ"

郷土資料『広報きくがわ縮刷版①』から、

今回は昭和59年5月1日NO.219の記事を紹介します。



「長嶋茂雄氏 ミスター来町」

プロ野球、巨人軍の元監督の長嶋茂雄さんが 山口ゴルフアンドカントリー倶楽部の理事会に出席するため に、3月30日菊川町に来町されたそうです。元プロ野球選手 だけあってゴルフもプロ級の腕前だったそうですよ。ゴルフを 楽しんでいる長嶋さんの写真も拝見できます。

長嶋さんは、残念ながら 2025 年 6 月 3 日にお亡くなりになりました。日本の野球選手といえばまっさきに名前が思い浮かぶ偉大な方が菊川町を訪れていたとは、なんとも誇らしい気持ちになりますね。

野球は漫画や小説の題材にも多く扱われますが、おすすめの 1冊は『キャプテン』ちば あきお/著です。(中央図書館にあります。)気になった方は、ぜひ読んでみてください。